

アートマニアながさき塾





塾長 内藤 修子

■ 塾長コメント ■

「アートマニアながさき塾」は長崎の市民の方とアートを楽しみます。アート活動の中心は、人とアートの繋がりを深くして、長崎を活気づけていこうという活動です。

歴史と文化が身近にある長崎の中で、アートを取り入れて、歴史文化との共有を試みて、イベントをするアート活動しています。

素晴らしいまちを再発見していく企画をしてきました。塾生はそれぞれが感性豊かな生き方をしています。長崎のアート活動が、長崎への思いに繋がるように思います。

例えば、長崎で生まれ長崎で育った方、横浜で生まれ長崎に結婚を機に来られた方、長崎で生まれ市外に就職し定年後に長崎に帰って来た方、転勤で長崎を離れていて長崎へ帰って来た方、長崎に居ながら長崎をしらなかつた方などが塾生として集いました。「アートマニアながさき塾」の会議で、初めて出会う方も多く、まずは自己紹介から始まることになりました。

何が、ここから始まるのか、全く未知の世界のような「アートマニアながさき塾」でしたが、長崎をあらためて、愛しいまでに感じる人たちがアートの力を知ることから「アートマニアながさき塾」は、はじまりました。



■ 塾の目的 ■

「アートマニアながさき塾」の目的はアートで、まちを活気づけることです。長崎市民でありながら、長崎のまちのことを知らない方がアートを通じて、心に残るアートの通りにして、会話を交わしながらまちを生き生きとしていきます。長崎市民の方だけではなく、長崎に住んでいない方でも気軽に楽しんでいけるようなイベント企画をします。空き家アート、路地裏アートなど、人が足を運ばない場所でも、そこにアートを展示していく活動をして、地域と人とアートが繋がる場所をつくっていくのが大きな目的でもあります。

より深く長崎愛のアートをとおして追求していきます。



■ 塾の研究・活動内容 ■

活動は月1回～2回の会議を行い。会議で研修日、イベント日程を決めました。初めての方も多く、「アートマニアながさき塾」が方向性や企画の意味を説明していく方法より、先ずアートをまちの中に設置して「アートストリート」としてアートに親しむことから始

めてみました。

浦上アートストリートは、各商店の前や店舗の中に展示しました。8月9日原爆の日を挿んだ日程としたことで観る方が多く、商店の方にも人気があり喜んでいただき、企画としては良かったのですが、搬入搬出と暑い日で塾生の疲れが気になりました。今後は真夏のアートイベントの日程を考慮したいと思います。

「アートマニアながさき塾」の目的を達成するために、活動内容を大きく3つに分けてみました。1つ目は、まず1年目で出来ることから行動を起こし、まちの中にアートを表示してみることに。

2つ目に、展示したアートを通してアートと人をつなげ、地域の方や商店の方と話してみることに。

3つ目にアート活動をどのまちの、どの地区で取り組むかということの検証。

この3つは今後の「アートマニアながさき塾」の課題にもなります。幸い1年目の展示で地域の方との交流も始まり、今後の展開につながると思います。店舗内で展示、店舗前の展示と「アートストリート」「野外アート展示」などと、今後も続けて行き、イベントで市民との交流を深めたいと思います。



■ 塾活動の成果 ■

アートを身近に感じてもらうために、長崎にちなんだ絵を塾生や活動への賛同者に描いていただき、その絵を「ながさきもんぬりえ」として、一冊にまとめました。

その他に浦上アートストリートやくすのき便りなど多くのイベントする際に地域の方と交流を深めることができました。

また、イベントを実施してみて観光客が通る場所ではあるが市民通らない場所があり、チラシやマップの配布、イベント広告の方法に工夫が必要なことやお店などにアート作品を展示する際に店舗やお客様に迷惑をかけることなど、課題を見つけられました。

塾活動が初めての方も多く、研修会を7月にしました。40人の塾生はアートの力を信じ、市民のアート活動として出発しました。



アートマニアながさき塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 27 年		
5 月 13 日(水)	長崎県勤労福祉会館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議
6 月 13 日(土) 16 時～17 時	長崎市市民活動センター ランタナ 2F 会議室	① 研修日について（目的、内容、研修説明） ② 長崎で始めて開催する「アートストリート」について、（開催時期、場所、作品展示） ③ 山王神社くすのき便りの子ども対象 ④ 浦上界限アートストリート現場視察会
7 月 5 日(日) 9 時～17 時	福岡県朝倉市黒川・旧黒川 小学校「共星の里」	廃校になった小学校を利用し美術作品を展示している「共星の里」への視察研修
7 月 11 日(土) 14 時～19 時	浦上地区	浦上アートストリートの作品展示賛同店舗の視察 作品の展示方法の検討
7 月 17 日(金) 19 時～21 時	長崎市市民活動センター ランタナ 2F 会議室	作品の取り扱い方・注意事項・作品出品者決定塾員の役割分担などの決定
8 月 7 日(金) 10 時～12 時	山王神社	「くすのき便り」家族に便りをだそうよ～をテーマにし、子どもたちとクスノキを描く。長崎に生まれて平和な世界を祈り、クスノキに託し、それを家族に伝えようというイベント。山王神社のクスノキをスケッチ、平和や家族への感謝など各自の気持ちを絵手紙にして家族に伝えます。
8 月 6 日(木) ～8 月 10 日(月) 10 時～23 時	浦上地区	浦上地区 18 店舗に絵画、造形を展示。スタートは浦上駅近くから山王神社まで。マップを持って、歩きながらアートを観る。商店街界限を歩いて、山王神社でゴール。
9 月 11 日(金) 19 時～21 時	市民活動センター ランタナ 2F 会議室	① 「浦上アートストリート」の感想反省会 ② 宮本初音講演会について（県立美術館展覧会場、講演内容について） ③ 10 月 23 日中間報告会メルカつきまちホールへの参加者を募る。 ④ 11 月スタートの「風頭公園・まちなかアート」について、野外アート展示を開催することについて塾員の意見を聞く。
9 月 26 日(土) 14 時～	風頭公園坂本龍馬像前集合	さるくガイドの方が風頭の歴史ガイドを案内
10 月 4 日(日) 15 時～17 時	長崎県美術館展覧会場内	長崎県美術館県民ギャラリー展覧会場で、宮本初音講演会「まちとアート、30 年」

日 時	場 所	内 容
11月2日(月) ～8日(日) 9時～17時30分	風頭公園・亀山社中跡・ おきみ茶屋・「風の大地」	風頭公園・亀山社中・長崎の歴史とアートの道を散策する。 「長崎さるく」と「アートマニアながさき塾」のアートが繋がり、歴史とアートがつながります。 長崎により深く親しむ、環境アートを積み重ねる。
11月2日(月) ～14日(土) 10時～18時	中川町・築町・鍛冶屋町 (まちなかアートフェス)	浜の町を少し歩けば。アートに出遭える。 路地裏に入れが、好きな絵にあえる、路地裏を歩けば、まちに似合う絵に会える。 身近にあるアートを楽しんでみよう企画。
11月8日(日) 14時～17時	風頭公園、坂本龍馬像前集合	野外展示の必然性を紐解くように、地域と人とアートが集う、楽しい展示になりました。 通行人観光客はまちとアートを身近に感じ、華やいだ賑やかな展覧会イベントでした。
12月6日(日) 15時～17時	市民活動センター ランタナ2F会議室	①風頭公園アートフェス、まちなかアートの反省会 ②長崎伝習所まつりについて ③風頭公園他展示イベントの反省会 ④平成28年3月21日長崎伝習所まつりについて ⑤パフォーマンスやイベントの提案について ⑥アートマニアながさき塾の成果物として 「ながさきんもんのぬりえ」本の制作について ・塾生全員のぬりえを提案する。 ・長崎に因んだぬりえを主にする。 ・3歳児から100歳までぬりえが楽しく出来る抽象的なものなどにする。
平成28年		
1月21日(木) 13時～16時	市民活動センター	「ながさきんもんのぬりえ」本の制作会議 ぬりえ制作者：26名 ぬりえ点数：68点
2月7日(日) 15時～17時	市民活動センター ランタナ2F会議室	長崎伝習所まつりの役割分担 ■「長崎伝習所」平成27年度研究成果報告書 塾生の研修感想文の依頼
3月21日 (月・休)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 調査内容パネルの展示、クイズなどを実施

7月イベント

塾活動が初めての方も多く、塾活動をするにあたっての参考にするため福岡県朝倉市にある廃校舎を利用し、アート作品を展示している。「共星の里」へ視察研修にいきました。



8月イベント

●浦上アートストリート

〈8月5日～8月10日〉

浦上アートストリートは、塾活動を決めていく会議で活動内容の意見が一致することがなく、困惑していたところ、その中で、多くの塾生がまずは、行動を起こしてみようということになり、そこで、長崎では誰もやったことがない浦上地区でアート作品を展示する、「浦上アートストリート」を実施することになりました。



●くすのき便り 〈8月7日〉

山王神社の宮司の方と6月に話し合いをし、山王神社を使用する際には、雨が降った場合境内で描いても良いとおっしゃっていただきました。当日は、雨が降らないで良かったです。参加者については、当初、子どもたちを50人募集していましたが、夏休みの宿題をかねて78人の子どもたちが参加をしました。

その他にも、子どもたちのスケッチの指導やイベントのアシスタントとして15人の塾生やボランティアが協力してイベントを実施しました。

とても有意義なイベントになりました。

長崎伝習所・アートマニアながさき塾 長崎伝習所・長崎市市民協働推進室
TEL 095-829-1125

くすのき便り

山王神社のくすのきを
スケッチしましょう。

夏休みの自由課題にしたり、絵手紙にして家族に送ったり
みんなでスケッチを楽しみましょう。

絵の先生からうまく描ける秘密をおしえてもらえるよ。

対象：小学生及び未就学児・学童・保育園 ※保護者同伴・学童は引率者同伴

日時：8月7日(金) 10時～正午 ※参加無料

場所：山王神社（祇園二の鳥居のある神社です）

持ってくるもの：絵の具道具・水筒・帽子
(画用紙・画板・一般の方の絵の具・筆・絵手紙用画紙はこちらで用意いたします)
 ※雨天の場合は山王神社境内社務所で開催します。

■絵画指導講師 ウエダ清人

■「くすのき便り」絵画指導および企画準備員 寺道信子・入内良治・道正信・木村聡子
 ・植真知子・林田美昭・平古瑞香・坂井紀久子・藤原佳子・榎本静子・田中昭子

★8月5日～10日「浦上アートストリート」同時開催

—— 最後70年目の夏、私たちが浦上の地でできること、感じること ——

期間中、浦上地区の各協力店舗に様々な作家のアート作品が展示されます。

ご購入、ご相談等はこちらにどうぞ。n-shu@nifty.com TEL 090-7622-9311 内藤裕子



10月イベント（10月4日）

●宮本初音講演会「まちとアート、30年」

講師の宮本初音さんは、福岡を拠点にまちの中でアートプロジェクトを行ってきた方です。当日の講演は、福岡以外に沖縄や、別府、韓国での活動をメインとしたお話で、興味深いものばかりでした。

長崎信託所「アートマニアながさき塾」主催



ART BASE 88 代表
・アートプログラムディレクター
・アートコーディネーター
・インディペンデントキュレーター

宮本初音 / MIYAMOTO HATSUNE 講演会 「まちとアート、30年」

30年前から現代美術に真っ向から取り組み、世界を駆ける宮本初音が私たちに投げかけるものはなんだろう。

場所 長崎県美術館県民ギャラリー（観覧会場）長崎市出島町2-1

日時 2015年10月4日（日）午後3時～5時（入場無料）

1980年代から現在企画しているものまで、福岡を拠点にまちの中で行ってきた「アートプロジェクト」について話します。

プロフィール 1982年生。九州大学卒。福岡市を拠点に1980年代より街なかのアートプロジェクトやアートマップ制作、海外交流事業などを企画運営/コーディネート。「ミュージアム・シティ・天神」「別府現代芸術フェスティバル 2009 混浴温泉世界九州アートゲート」ギャラリー・アトリエなど。2008年から独立型アートセンター「ART BASE 88」を創設2023内に運営。2010年から福岡と豊山間のアーティスト交流事業「WATAGATA 福岡サンアートネットワーク」を開始、同名義にて2014年「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ」に参加。*著作「ミュージアム・シティ・プロジェクト 1990-200X」(山野真博、渡田崇典と共著)2003年、ミュージアム・シティ・プロジェクト出版部「アート・デザイン・クロッシング vol.2 数珠する僕たち」(宮賀肇 編著、佐々木善英代、後小路雅弘、吉田修一と共著)2006年、九州大学出版会

問合せ先: アートマニアながさき塾 内藤希子 n-hishiko@naga-net.ne.jp TEL. 095-856-5471

長崎信託所事務局(長崎市市民協働推進室内) TEL. 095-829-1125



11月イベント

●「風頭山・亀山社中 歴史とアートの道」 〈11月2日～11月8日〉

風頭地区の風の大地アトリエや風頭公園、おきみ茶房にアート作品を展示しました。

観光客が観たり他にも不思議な感じで見ている人や作品の前で記念撮影をしている方が

いました。

イベントを実施してみて、子どもたちの作品が増えたら、公園の中に子どもたちが来て賑やかになると思いました。

また、展示人数を増やし、参加者と通行人との交流を深めたいなど次年度への課題も見つけました。



●中川町・築町・鍛冶屋町まちなかアートストリート 〈11月2日～11月14日〉

浜の町を少し、歩けばアートに出会える。路地裏を歩けば好きな絵に会えるとアート作品を身近に感じてもらおうと企画し、まちの中の喫茶店と路地にある喫茶店にアート作品を展示してもらいました。



11月のイベントでは、多くの方に知ってもらおうと作品の展示スペースやまちの見どころを載せたアートマップを制作しました。

また、実施するにあたって長崎の作家の皆さんが、快く作品を出品していただいたり、このようなイベントを待っていたというご意見をいただきました。

浦上アートストリートMAP

8月5日～10日
長崎伝習所
アートマニアながさき塾

アートな夏・浦上界限
期間中、各協力店舗に作品が展示されます。

くすのき便り
8月7日10時～12時
山王神社
徳澤クスノキ周辺
こどもたちが山王神社のくすのきをスケッチ。平和や大切な人への感謝など、それぞれの気持ちを絵や手紙にして家族に伝えます。

浦上アートストリート
戦後70年、長崎の地に私たちが出来ることはなんでしょう。
アートストリートを歩いて、地域に親しみ、平和を願うことから始めよう。

参加アーティスト

- ・石田智・今道優子・岩永勉・入内良治・ウエダ清人・岡田一社
- ・関元和正・橋本静子・加藤洋子・木下愛子・境真知子・高岡順子
- ・田中昭子・田中奈都美・徳山光・内藤裕子・林田信代・松岡千恵子
- ・松下和代・園中輝雄・道正優・山口元子・山下良夫・吉田形勲

風頭山・亀山社中 歴史とアート之道 11月2日～8日

長崎伝習所 アートマニアながさき塾

若宮稲荷神社
「竹ん芸」(秋の祭りに行われる、畳の面をつけた若者が二本の竹の上で曲芸を行う行事)の資料も見ることが出来る。(夏・冬)

風頭風の大地アトリエ 展示
展示作家
・重崎晴性
・中山山南
・岩本憲子
・入内良治
・加藤賢一
・斎藤基
・濱本重和
・宮崎真知子
長崎を拠点に活躍している作家の書、絵画、写真を展示。 ※風頭公園グラウンドの案内板によりお越しください。(開催時間10時～17時)

小川 凧店
資料館では長崎風の歴史と凧を多数展示。さらに作業場では長崎のハタ作りを見学できる。(開催時間9時～17時30分)

亀山焼窯跡

龍馬のぶ一つ像

伊良林平公民館

龍馬像

亀山社中跡

坂本龍馬之像

風頭公園グラウンド

上野(彦馬)家墓地

司馬遼太郎「龍馬がゆく」文学碑

亀山社中資料展示場
坂本龍馬を中心に、亀山社中や海援隊、幕末の志士など、貴重な写真を多数展示。(会期中は休館日なし 開催9時～17時)

おきみ茶房 展示
展示作家
・寛本恵子
・永福慶子
・小崎 信
・山下良夫
・米村昭彦
かつてここから長崎港が見渡せたため沖見町と呼ばれていたのが信名の由来。彦山を通過し、くつろげる安らぎの空間。(営業時間10時～17時)

風頭公園 展示
展示作家
・ウエダ清人・金子衛
・内藤修子・堺 真知子
以前この一帯は石切場で、長崎名物の石積や石質の石はここから切り出されて運ばれた。平面、立体作品やインスタレーションを展示。

● 作品展示スペース
● みどころ
→ 観覧順路

長崎バス 風頭山行きで 終点下車 長崎駅から約25分 風の町から約15分
有料駐車場 1時間 ¥200
長崎伝習所 「アートマニアながさき塾」 上田 090-7444-9037 内線 090-7822-9311

中川町・築町・鍛冶屋町 まちなかアートフェスタ

11月2日(月)～14日(土) 長崎伝習所 アートマニアながさき塾

「まちなか」でふと出会うアート作品は美術館とはまた違った表情を見せます。それは憩いの場を交流の場に変えて街全体を少しだけ明るくしてくれます。

本格珈琲専門店 萌華

・営業時間10時～18時
・日曜定休日
メルカつきまちから県庁坂方向に約50m、セブンイレブンの斜め向い

出展作家
・今道 信子・川口 久敏
・境 真知子・田中 昭子
・園 俊晴・内藤 修子
・濱本 重和・松岡 千恵子
※モダンアート作品を中心に展示

長崎伝習所「アートマニアながさき塾」 内線 090-7822-9311 上田 090-7444-9037

新中川町

伊良林小

珈琲蔵 えん

・営業時間10時～18時
・期間中無休
新中川町電停より堂茶屋方向へ約70m、中川町バス停の前

出展作家
・石田 智・入内 良治
・岩永 勉・中部 奈都美
・堀 遼太郎・道 正信
・松尾 英夫・山田 順子
※油絵を中心に展示

ぎやらりーカフェ 耕美庵

・営業時間11時～18時
・水曜、日曜定休日
鍛冶市通りから浜橋本店の角を曲がって約50m、紅梅亭の2F

出展作家
・山下 繁雄
・南公民館水陽会
※水彩画を中心に展示

鍛冶市通り
浜市アーケード
思案橋
正覚寺下

「アートマニアながさき塾」に参加して

アートマニアながさき塾・感想

■塾に参加して思うこと

境 真知子

街中に色が溢れ散乱している。大部分が商業的意図と看板や店頭の装飾物等で、その中で、絵画を持ち出すとどうなるのか一抹の不安があった。

美術館や画廊にある絵画を見に行くのと、店頭飾った絵画を比べて、店頭で作品を展示したのを見ると、なんの気取りもなく、道行く人達のチラリ視線で通り過ぎた後、心の何処かに滲みる絵に出逢えたら嬉しい気持ちになるだろう。

アートマニアながさき塾に始めて参加して何をしたら良いのか解らなかったが、皆で活動を共にして徐々に、私の心中で新たな何か広がりがつつあるような気がする。



■風頭山歴史とアートの道

まちなかアートの感想反省点

参加者に口頭で感想を頂きました。

●今道信子さん

珍しい作品展で、しかもグレードアップした作品展でした。新しい展覧会としてとても良かった。野外アートは事前視察して、何が、必要かなど、チャンスが欲しいと思う。

●山下昭子さん

地域を取り組んで、地域的な場所を取り入れ、観光客も取り込んで、これからの発展が楽しみになった。

●境真知子さん

経験がない野外アートですが、参加して楽しかったし、面白いと思った。知人友人が風頭山へ観にみてくれたことにもびっくりした。展評もおもしろい評価でした。新しい自分の発見にもなりました。やってみて、手探り状態でした。

●阪井紀久子さん

普通の散歩道がアートの道に変わる、まさにパブリックアートだと思う。感激しました。絵を観る目的ではなく、自然とアートがあるという感覚が素晴らしいと思う。

●平谷真一さん

仕事の関係で歩く場所です。現代美術と「長崎さるく」がうまくマッチしていた。同行したお客さんが、「これはなんだろう」という話題にもなった。野外アートの確認が出来た。

●藤原佳子さん

アートは何処でやっても、観たい人がいると、出かけて行くものだと思った。お墓に参る道を歩いてアートを観るという感覚が発見にもなり、長崎のすばらしさが確認出来た。

●岡田仁さん

子どもの頃よく遊んだ場所をアートの道を歩くと、懐かしくよみがえり、不思議な感傷でした。風頭山を歩くと昔を思い出した。若宮神社の道は特になつかしく思った。この企画がないと、歩いてないと思った。

●金子衛さん

作家として、夢中で制作した。この場所でアートマニアながさき塾・長崎に何が、貢献できるだろう・長崎の活性化をアートで何が出来るだろうと考えた。展示に4日間、毎日バスで朝から夕方まで通った。これからもこのようなかたちで自分自身が長崎に何が出来るかを考えて、自分の制作を続けて行きたい。

●林田信代さん

風頭公園には10年以上来てなかったが、このアート活動を通じて、この機会に来て良かった。浦上アートストリートの時にも感じたが、地元の方の協力なくては出来ない展覧会だと思う。作品を観た地域の方の笑顔が嬉しかった。そして、参加して居るほうが楽しいと思った。

●岩永勉さん

作家の略歴を作品に付けて欲しいという意見があった。より、多くの地域の方の参加を呼び掛けたいと思った。

●事務局員 木下雅人さん

今回は手探り状態でした。次年度の発展を期待する。歩いて、アートを観て、「健康」に繋がることを発見した。

●副塾長 上田清人さん

地域の方の協力を得て知ったことは、みんな長崎を愛していること、なんらかのかたちで長崎の活性化に深い思いがあること。地元愛を感じた。

*分担をはっきりして、塾員全員が参加するようにしたい。一部の方だけで盛り上がりも意味はない。野外アート企画は長崎市では初めてなので、なんども市に通った。なにもかも始めて企画に協力姿勢を示して頂いた。

●阪井紀久子さん

とてもうまく軌道しているアートマニアながさき塾だと思う。1年間で進歩的で、発展的姿勢になっていると思う。

●大草一郎さん

共有する時間が少なかった。もっと計画的に進行してほしい。これからも、会議を多くして、目的に向かう方を進めたい。進行の速さにステップ段階を積み重ねていかないと・・・ついていくのにやっとだった。

●林田英昭さん

マップなど制作して、随分PC作動が学べた。

●内藤修子

問題点を話しで解決へと進んで行きたい。

■アートマニアながさき塾第1回会議の感想

山下 昭子

第1回会議では、会議内容が解りやすく、副塾長の意見も、なかなかいい出来でした。会議は良い運びだったと思います。息の合った、いいコンビで今後、安心して活動できそうな予感がしました。



■ 副塾長 道 正信
美術作品づくりを通じて、美術館のみではなく地域住民と身近にアートに接してもらいアートとは何かを身近に感じてもらう趣旨で年間の活動を行ってみた。前段に福岡県の廃校を利用し、美術展示及び活動を行っている「共星の里」を見学、施設内作品展示、運営方法などを聴き、少なからず参考になった。8月「浦上アートストリート」と銘打ち塾員の協力も得て浜口商店街に作品展示、大方の商店の反応は好意的であったように思う。浦上地区を被爆地域と捉え「被爆楠木」のスケッチ会を児童達と行い、その心にも印象が刻まれたものと思う。11月には市街地の喫茶店及び風頭公園を中心に野外作品の展示、店舗、アトリエ開放などを行った。長崎さるくのコースに含まれるエリアであったが、例えば観光客もどれだけ取り込めたのか反省の余地があるようだ。

■アートマニアながさき塾 感想文

林田 英昭

私がこの塾に入ろうと思ったきっかけは、「アートマニアながさき塾」という名前の「アートマニア」というところ。「アートファン」でも「アーティスト」でもない、その双方を繋ぐ「アートが好きでたまらない人たち」といったニュアンスをこの名前に感じたからです。ふたを開けてみると実際そのとおりで、各地で個展を何度もやっているような著名な作家さんから私のようなアート好きの素人まで、皆がそれぞれできることをやりながら造り上げていくという自由な空気の中で活動できました。この、塾長さんのゆる～いリード（失礼）によって、皆勝手気ままにやりながらもひとつの目標に向かって実現させていくという関係性が私にはとても心地よく、おかげで新しい経験をする機会を多く与えてもらいました。特に浦上から風頭へと続いた街なかアートイベントは、塾長言うところの「街なかアート」を流し漂わせる」という塾のコンセプトを具現化していたのではないかと思います。...このアートイベントは、来年度も活動が継続できれば、地元の方々も思わず参加したくなるようなイベントに進化成長し、「地域に開かれた塾」となっていく期待を大いに感じさせるものでした。塾活動を通してこの1年間を楽しく刺激的にさせていただいたアートマニアながさき塾の皆さん、サポートしていただいた長崎伝習所事務局の方々、本当にありがとうございました。

■アーとマニアながさき塾 年間感想文

山下 昭子

①7月5日実施・・・「共星の里」日帰り研修(福岡県朝倉市)廃校の旧黒川小学校に現代美術の品がずらりと展示されていた。

山里の静かな空間の中で、現代美術に出会い、何よりも、不思議な感動に包まれ、なぜかじわりと懐かしく、そして現在に生きる私と、かつての自分との再会といったような気持ちになった。それはつまり、現代美術と環境との落差、そして時間が醸し出す不思議な世界に魅了されたからだろう。参加して本当に良かったと満足できた。

②8月5日～10日・・・アートストリート
「夏の浦上界隈」(浦上商店街界隈)

浦上地区の川口町、浜口町、岩川町、坂本町に18店舗の内外に、小品を展示する“アートストリート”。長崎では初という企画、また塾としての狙い、目的、主旨だったと思われるが、商店街や往来する人たち、買い物客の反応は果たしてどうだったのか知りたいところ。しかし反響はともあれ18もの店舗が主旨に賛同し、展示空間と作品管理に協力してくれたことは、まず初期の目的を果たし得たと評価していいのでは・・・。

③10月4日(般展会場)・・・宮本初音
講演会「まちとアート30年」
(県美術館県民ギャラリー)

他県の町づくりについて、興味深く耳を傾けた。

④11月2日～・・・風頭山、亀山社中、歴史とアートの道。今回、個人的には最も興味を持ち、期待していた場面。展示場所の選定

が予想外だった。地元の人あまり行かないが観光客が多い屋外インスタレーション。風頭の広場、大木、植物、小道、畑にカラフルな作品が思い思いに、ゆったりと広がり、自然に寄り添って心地よい風を呼び起こしていたと思う。ただ、観光客は多いが地元の人あまり足を向けないという地域での今回の大胆な発想と企画に実際は来場者・反応はどうだったのか知りたいですね。

■アートマニアながさき塾 感想

今道 信子

○美術の集まりとしては、「外に出る」「外に展示する」など、企画がとても良かったと思います。

○広がりのある企画が多く、今後も是非続けて欲しいと御願ひします。

■アートマニアながさき塾感想

阪井 紀久子

楽しい企画イベントが出来て良かったと思います。長崎に新しい風を起こせたと思います。



■アートマニアながさき塾とのこの1年

dscr. by S.Hiratani

私自身途中から十分に参加しなくなったため、限られた内容となってしまふ事をまず御了承下さい。今回の活動については、これまで仲間同士で活動されてきた主に長崎市内の美術家の皆さん、またそれに対して鑑賞という形でしかコミットできなかった一般の方々が、美術作業を共同で実施できた点、「開かれた」芸術活動であったという事が最も意味ある事だと思います。これは実施当日だけでなく、打合せの場に置いてもそうであって、美術家の方々と一般の方々とのある意味視差の違いが、双方に無い部分を補うような形で議論や作業を行えたという意味もあるわけです(市のご担当者の方のサポートと調整の御苦労も大きかったと思います)。今回それを長崎市の公的なサポートにより実現できたという事は、この伝習塾の企画の中でもこのアートマニアが他に無い大きな実績であり、今後の行政と民間との文化的な連携活動の一例として、伝えていって頂きたいと願います。来年度以降もぜひ継続が承認され、より多くの長崎市民の方、長崎県の方にも知られてほしいと思っております。



アートマニアながさき塾

塾長	内藤 修子				
1	今道 信子	21	岩永 勉	41	山本 春菜
2	古賀 弥生	22	林田 信代	42	
3	入内 良治	23	浦口 清子	43	
4	上田 清人	24	亀本 勝利	44	
5	江口 ひとみ	25	石田 智	45	
6	岡田 仁	26	平谷 眞一	46	
7	岡元 和正	27	金子 衛	47	
8	柿本 静子	28	竹ノ下磨須子	48	
9	阪井 紀久子	29	林田 英昭	49	
10	境 真知子	30	坂東 信子	50	
11	野濱 邦子	31	長谷 昭子	51	
12	野濱 夏希	32	大草 一俊	52	
13	藤原 佳子	33	高岡 絹子	53	
14	真崎 康三	34	竹谷 浩美	54	
15	松尾 英夫	35	有馬 一郎	55	
16	松下 和代	36	梶原 元子	56	
17	道 正信	37	近藤 雅子	57	
18	山下 昭子	38	寺島 由美子	58	
19	山下 良夫	39	伊東山 勤	59	
20	吉田形 勸	40	米倉 美保	事務局員	文化振興課 木下 雅人

